

会 議 報 告 書

1 会議名	第2回北上市子ども・子育て会議		
2 日 時	令和6年10月25日（金） 午後4時から5時30分まで	3 場 所	hoKko 1 階ふれあいホール 3
4 出席者	【委 員】12名 【事務局】5名 (出席者の詳細は、別紙名簿のとおり)		
<議事内容> (1) 報告 民間事業者による認定こども園新設計画の見直し 【説明の要旨】 江釣子地区における認定こども園の新設計画について、保護者や地域住民の声を受け、事業者から計画を全面的に見直す申し出があったことから、経緯を含めて状況を報告した。 【質疑、意見】 (委員) 今後、公募による民営化も含めて手法を検討ということだが、そのまま市が運営していくことは難しいのか。 (事務局) 基本的な考え方として、民でできることは民にお願いするという考えがある。今回は事業者のから声があったのでそういう方針を検討した。もちろん公立で運営することは可能であるが、公費を投入して運営することになるわけで、保育施設に限らず、行政が行うサービス全体の共通の考えとして運営していくとこういう考えになる。例えば、公募しても事業者から手が上がらないとなれば、もちろん公立が運営していくという考え方になる。 (委員) 話し合いの進め方として、議会があって、子育て会議、その後に利用者という流れだったが、もう少し地域のことをしっかりと聞いたうえで上げていく方がよかったのではないかと。 (事務局) そのとおりで、一番の関係者である保護者であったり地域の方であったりの意見を聞いておけばよかったというのはそのとおりだ。一方で、市の対応方針は市民の代表者である議会に最初に提示するという考え方もあり、この順番はどちらが良かったのか、結果的には保護者や地域の意見を聞いておけば良かった部分もあるので、今後はそういうところを精査して進めたい。 (2) 協議 北上市認可保育施設の利用定員について 【説明の要旨】 令和7年度の利用定員の増減予定を説明。 【質疑、意見】 (委員) 少子化が進行しているが、8年度以降はどうなるのか。 (事務局) 今後の計画となると、現在の子ども子育て支援事業計画が本年度までの計画であり、来年度以降の計画は策定中であるが、一つ言えるのは、ここ3年は過去最低の出生数で、その子たち			

の年齢が上がると一定程度の期間は少ない児童数という状況が続く。利用定員も増やすような、いわゆる純粋な新設というものは認めていきづらい。北上市には新設の声をいただくケースがあるが、このような状況を説明している。

(委員)

新設は認めないわけではないが、現在の定員の中でということで理解した。

※提案に対して異議なし。